



行動！ 最も重要な時は「今」

1983年6月、池田名誉会長は、スペインの首都・マドリードを訪れていた。マヨール広場で羽を休めていた鳥たちが、にわかに羽首を立てて舞い上がった。

生あるものは、瞬間、瞬間が行動であり、戦いである。この厳然

たる宇宙の法則を、名誉会長のカメラが切り取って見せた。

「大作は、隼のようだな」。恩師・戸田第2代会長は評した。若き日から、名誉会長は、迅速第一で友を励まし、中傷に反撃し、平和の潮流を広げてきた。「スピー

ド」こそ誠実の証明、「行動」こそ責任感の表れであった。

ナポレオンいわく「二時間でできることに二日もかけるようなことは絶対にしない」(長塚隆二訳)。電光石火の行動で、今、自身の黄金の歴史を開いていきたい。

最も重要な時とは、いつか。
それは「今」である。
最も必要な人とは、だれか。
それは
「今、出会っている人」である。
そして、最も重要なことは、何か。
それは

「今、出会っている人に
善をなすこと」である。
人を奮い立たせるのは
自分の行動である。
行動の裏づけをもった
魂の叫びであり、声である。

スピードは
「リーダー率先」の証である。
リーダーに、魔を寄せつけぬ
生命の気迫があるからこそ、
スピードが生まれるのだ。
どうすれば、
あの友を勇気づけられるか。
この友の奮起を促すことができるか。
時を逃さず、迅速に手を打ち、
行動することだ。

「仏法は勝負」である。
人生は闘争である。
勝負である以上、
勝利する以外にない。
一日一日、

自分らしく勝利していく。
その繰り返しに、
三世にわたる幸福と勝利の軌道が
厳然と築かれていく。

たとえ分野が異なっても
「行動者」同士は話を通じる。
反対に「傍観者」「見物人」には
責任感がない。

人生の主体者ではないゆえに
真の充実も幸福もないであろう。
「行動する人間」には
当然、苦勞も大きい。
無責任な批判も多い。

しかし、
生命の底からの充実と満足は
その人のものである。



一瞬一瞬、時は過ぎ去る。励ますのは今しかない——
欧州ルクセンブルクを初訪問。中央駅を出発する瞬間
まで、励ましを送る池田名誉会長夫妻（1991年6月）